

「バトンをつなぐ意味」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期になっていた運動会が、県内でも少しずつ開催されるようになってきました。制約のある中での実施ですが、全力を出している姿からは、子どもたちの前向きな気持ちがよく伝わってきます。

ある学校で、運動会を間近に控え、体育の時間にリレーの練習をしていました。

あるチームが、バトンを落としてしまいました。しかも、バトンがコロコロと転がって行ってしまったため、拾うのに時間がかかりました。「あ～あ」というため息も聞こえてきました。前を走るチームとは、半周近い差がつきました。

でも、そのチームには、諦めない子どもたちがいました。バトンを受け継いだ子どもが、全力で追い上げていきます。ぐんぐんと差が縮まっていきます。「がんばれっ！」子どもたちの大きな声援が続きます。バトンはしっかりとつながっていきます。

そして、ゴールしたときには、あんなに大きかった差が、わずか数メートルにまで縮まっていた。最終的に、最下位のままでしたが、それでも、何か清々しいものが感じられました。

バトンは、目に見えるバトンばかりではない気がしました。

担任の先生は、一位になったチームをたたえました。学習のめあてを意識していた別のチームもたたえました。そして、先ほどのチームも取り上げて力強くほめました。そして、「リレーで、バトンをつなぐ意味って何でしょう。100メートル走とはどこが違うのでしょうか。」と投げかけて授業は終わりました。

みなさんだったら、どう考えますか。